

〔卒業後の状況調査〕

1 中学校卒業生

(1) 平成18年3月の中学校卒業生数は54,053人(男子27,779人,女子26,274人)で,前年より810人(1.5%)減少している。

「高等学校等進学者」は52,838人(男子27,045人,女子25,793人)で,前年より766人(1.4%)減少している。

「専修学校(高等課程)進学者」は91人(男子53人,女子38人)で,前年より17人(15.7%)減少している。

「専修学校(一般課程)等入学者」は74人(男子31人,女子43人)となっている。

「公共職業能力開発施設等入学者」は50人(男子48人,女子2人)となっている。

「就職者(進学者は含まない)」は328人(男子259人,女子69人)で,前年より9人(2.8%)増加している。

「左記以外の者」及び「死亡・不詳の者」は672人(男子343人,女子329人)で,前年より32人(4.5%)減少している。

図9 中学校卒業生数及び進学率の推移

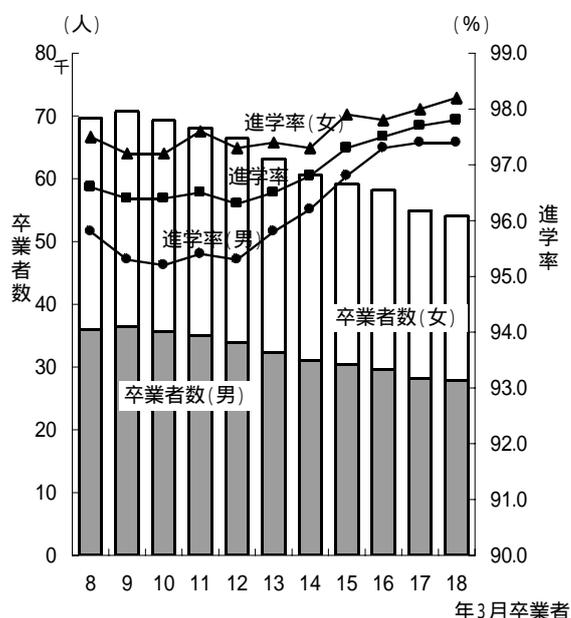


表10 中学校の進路別卒業生数

区分	卒業生数	高等学校等		専修学校 (高等課程) 進学者	専修学校 (一般課程) 等入学者	公共職業 能力開発 施設等入 学者	就職者	左記以 外の者	死亡・ 不詳の 者	ABCDのうち 就職してい る者(再掲)	高等学校等		就職率 (%)
		進学者	うち通信制 A 課程を除く								進学者	通信制課 程を除く	
平成8年	69,691	67,333	67,219	667	446	...	604	631	10	46	96.6	96.5	0.9
9年	70,680	68,164	67,984	602	443	...	726	737	8	44	96.4	96.2	1.1
10年	69,283	66,815	66,644	575	416	...	619	852	6	47	96.4	96.2	1.0
11年	68,133	65,738	65,482	495	251	117	581	944	7	46	96.5	96.1	0.9
12年	66,383	63,926	63,668	521	259	98	577	996	6	28	96.3	95.9	0.9
13年	63,198	61,017	60,635	335	172	118	531	1,017	8	44	96.5	95.9	0.9
14年	60,647	58,681	58,345	303	179	119	475	888	2	15	96.8	96.2	0.8
15年	59,176	57,599	57,302	176	124	103	364	806	4	30	97.3	96.8	0.7
16年	58,215	56,776	56,401	149	89	62	361	777	1	14	97.5	96.9	0.6
17年	54,863	53,604	53,235	108	80	48	319	698	6	21	97.7	97.0	0.6
18年	54,053	52,838	52,485	91	74	50	328	669	3	17	97.8	97.1	0.6

(2) 高等学校等進学者数のうち,高等学校の通信制課程(本科)へ進学した者を除いた進学者数は52,485人で前年より750人減少し,男子は26,882人で前年より334人,女子は25,603人で前年より416人それぞれ減少している。

高等学校等進学率(全卒業生数のうち高等学校等進学者の占める割合)は97.8%となっている。このうち高等学校の通信制課程(本科)へ進学した者を除いた進学率は97.1%で,前年より0.1ポイント上昇している。男子は96.8%で前年と同率であり,女子は97.4%で前年より0.2ポイント上昇している。

男女別の進学率は,昭和42年以降女子の進学率が男子のそれを上回っている。

(3) 就職者総数(「就職者」に「高等学校等進学者」・「専修学校(高等課程)進学者」・「専修学校(一般課程)等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数)は345人(男子265人,女子80人)で,前年より5人増加している。

就職率(全卒業生数のうち就職者総数の占める比率)は0.6%で,前年と同率である。

就職者総数を産業部門別にみると,最も多いのが第2次産業の191人(就職者総数の55.4%)で,次いで第3次産業の147人(同42.6%)となっている。

就職者総数のうち県外(出身中学校が所在する県以外の県)へ就職した者は37人で,就職者総数の10.7%を占め,前年より3.4ポイント低下している。

2 高等学校(全日制課程・定時制課程)卒業生

(1) 平成18年3月の高等学校卒業生は50,280人(男子25,499人,女子24,781人)で,前年より1,138人(2.2%)減少している。卒業生の進路別内訳は,「大学等進学者」24,213人,「専修学校(専門課程)進学者」10,065人,「専修学校(一般課程)等入学者」4,902人,「公共職業能力開発施設等入学者」178人,「就職者」6,822人,「一時的な仕事に就いた者」1,498人,「左記以外の者」及び「死亡・不詳の者」2,602人となっている。

(2) 大学等進学者数は24,213人で,うち男子は12,328人,女子は11,885人で,前年より733人(3.1%)増加している。

進学率(全卒業生数のうち大学等進学者の占める比率)は48.2%で,うち男子は48.3%,女子は48.0%となっている。

このうち,大学・短期大学の通信教育部に進学した者を除いた進学率は48.1%で,前年より2.5ポイント上昇している。

男女別の進学率は,昭和48年以降女子の進学率が男子のそれを上回っていたが,本年は男子の進学率が女子のそれを上回っている。

図10 高等学校卒業生数,進学率及び就職率の推移

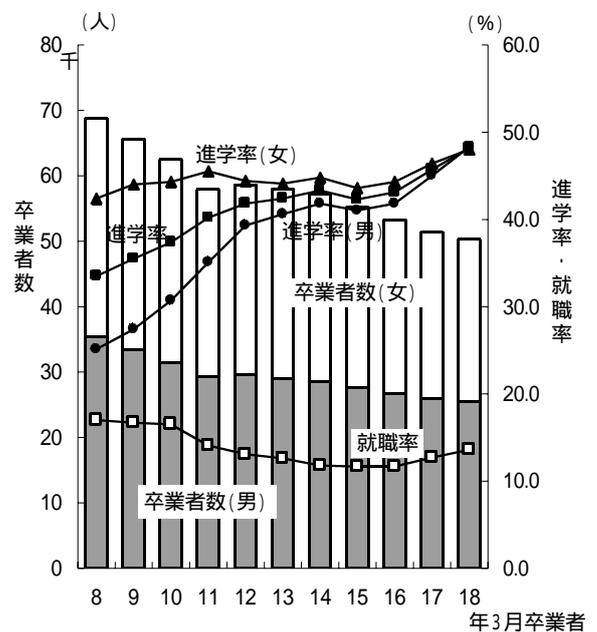


表11 高等学校の進路別卒業生数

区分	卒業生数	大学等		専修学校 (専門課程) 進学者B	専修学校 (一般課程) 等入学者C	公共職業 能力開発 施設等入 学者D	就職者	一時的な 仕事に 就いた者	左記以 外の者	死亡・ 不詳の 者	ABCDのうち 就職してい る者(再掲)	大学等 進学率 (%)	大学等 通信教育 部を除く	就職率 (%)
		進学者	うち通信教 育部を除く A											
平成8年	68,733	23,001	22,898	13,754	13,749	...	11,582	...	6,544	103	125	33.5	33.3	17.0
9年	65,669	23,335	23,256	13,163	12,217	...	10,868	...	5,904	182	98	35.5	35.4	16.7
10年	62,503	23,390	23,350	11,932	11,258	...	10,281	...	5,538	104	60	37.4	37.4	16.5
11年	57,865	23,274	23,240	10,711	8,554	201	8,144	...	6,801	120	39	40.2	40.2	14.1
12年	58,633	24,524	24,495	11,388	7,759	216	7,604	...	6,922	220	76	41.8	41.8	13.1
13年	58,013	24,575	24,550	11,297	7,610	217	7,251	...	6,770	293	56	42.4	42.3	12.6
14年	57,134	24,738	24,722	11,140	7,437	199	6,668	...	6,947	5	56	43.3	43.3	11.8
15年	55,225	23,354	23,311	11,087	7,586	242	6,420	...	6,536	-	58	42.3	42.2	11.7
16年	53,304	22,950	22,919	11,040	7,183	148	6,213	2,083	3,686	1	32	43.1	43.0	11.7
17年	51,418	23,480	23,448	10,451	5,995	169	6,522	1,735	3,056	10	23	45.7	45.6	12.7
18年	50,280	24,213	24,186	10,065	4,902	178	6,822	1,498	2,600	2	14	48.2	48.1	13.6

(3) 専修学校(専門課程)進学者は10,065人(男子4,106人,女子5,959人)で,進学率は20.0%となり前年より0.3ポイント低下している。

(4) 就職者総数(「就職者」に「大学等進学者」・「専修学校(専門課程)進学者」・「専修学校(一般課程)等入学者」及び「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者を加えた全就職者数)は6,836人で,前年より291人(4.4%)増加している。

就職率は13.6%で,前年より0.9ポイント上昇している。

就職者総数を産業別にみると,製造業が2,076人(就職者総数の30.4%)で最も多く,次いで卸売・小売業1,208人(同17.7%),サービス業が772人(同11.3%)等となっている。

就職者総数を職業別にみると,生産工程・労務作業者が2,580人(就職者総数の37.7%)と最も多く,次いでサービス職業従事者1,240人(同18.1%),販売従事者が1,033人(同15.1%),事務従事者919人(同13.4%)等となっている。

就職者総数のうち,県外(出身高等学校が所在する県以外の県)へ就職した者は1,555人(前年1,476人)で就職者総数の22.7%であり,前年より0.1ポイント上昇している。

図11 高等学校卒業者の男女別にみた主な産業別就職者数の比率

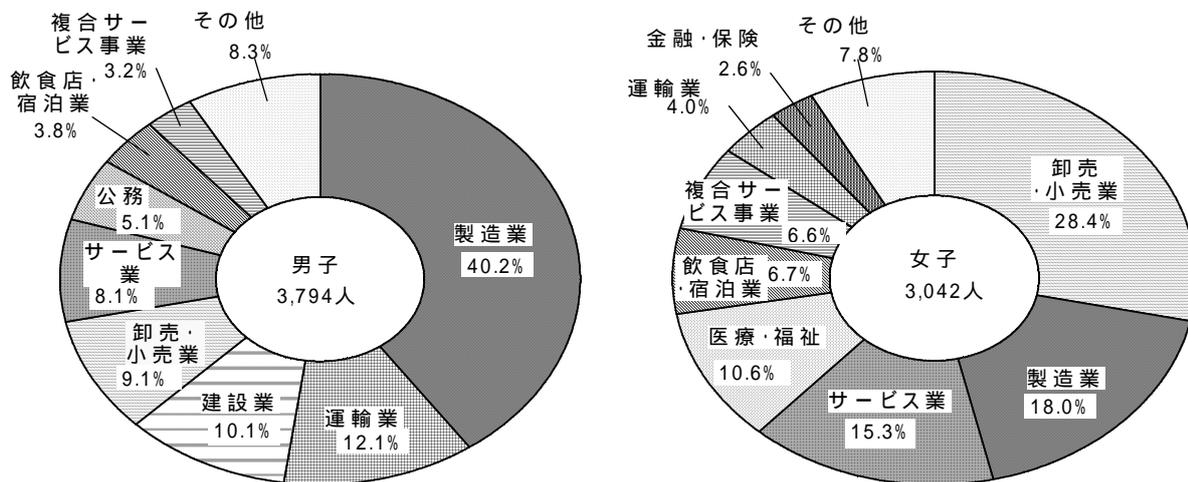
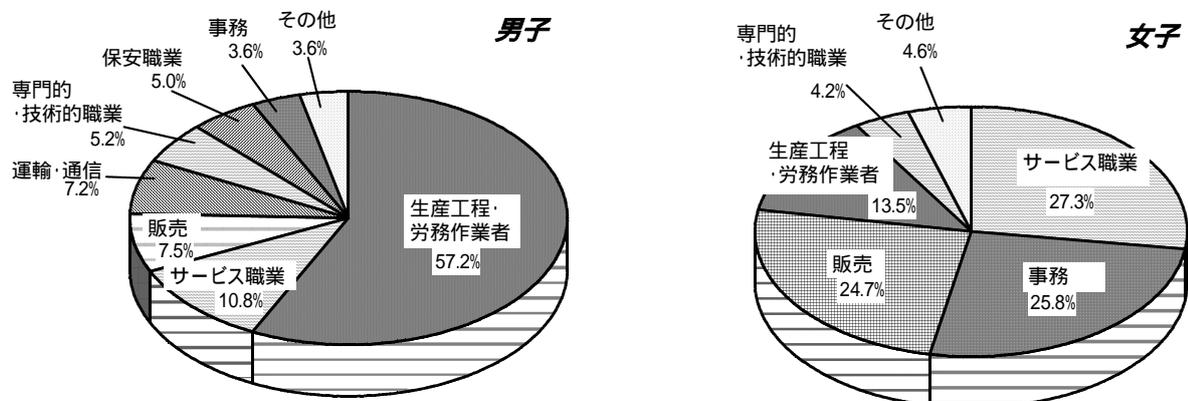


図12 高等学校卒業者の男女別にみた主な職業別就職者数の比率



3 高等学校(通信制課程)卒業生

- (1) 平成17年度間の高等学校(通信制課程)の卒業生数は1,262人(男子636人,女子626人)で,前年度間より307人増加している。

卒業生の進路別内訳は,「大学等進学者」173人(卒業生に占める比率13.7%),「専修学校(専門課程)進学者」247人(同19.6%),「専修学校(一般課程)等入学者」52人(同4.1%),「公共職業能力開発施設等入学者」5人(同0.4%),「就職者」99人(同7.8%),「左記以外の者及び死亡・不詳の者」686人(同54.4%)となっている。

4 盲学校・聾学校・養護学校(中学部・高等部)卒業生

- (1) 平成18年3月の盲・聾・養護学校の各中学部の卒業生数は,盲学校11人,聾学校23人,養護学校307人で,前年と比べ盲学校は10人増加,聾学校は1人増加,養護学校は19人増加している。

卒業生のうち高等学校等進学者数は,盲学校11人(卒業生に占める割合100.0%),聾学校23人(同100.0%),養護学校302人(同98.4%)で,その大部分は各学校の高等部へ進学している。

- (2) 平成18年3月の盲・聾・養護学校の各高等部の卒業生数は,盲学校8人,聾学校52人,養護学校548人で,前年と比べ,盲学校は2人増加,聾学校は12人増加,養護学校は10人増加している。

卒業生のうち大学等進学者数は,盲学校4人(卒業生に占める割合50.0%),聾学校34人(同65.4%),養護学校4人(同0.7%)となっている。

卒業生のうち就職者数は,盲学校0人(卒業生に占める割合0.0%),聾学校10人(同19.2%),養護学校149人(同27.2%)となっている。

[不 就 学 学 齡 児 童 生 徒 調 査]

1 就学免除者

就学免除者数は学齡児童(6歳～11歳) 1人, 学齡生徒(12歳～14歳) 4人となっている。

2 就学猶予者

就学猶予者数は学齡児童 14人, 学齡生徒 3人となっている。

3 1年以上居所不明者

1年以上居所不明者数は学齡児童 4人, 学齡生徒 2人となっている。

4 学齡児童生徒死亡者

平成17年度間に死亡した学齡児童は12人, 学齡生徒は9人となっている。

[学 校 施 設 調 査]

1 学校土地面積

私立学校の土地面積は5,549,157㎡(設置者所有4,722,581㎡, 借用826,576㎡)で, 前年度より56,205㎡増加している。

公立の専修学校の土地面積は120,792㎡(設置者所有118,748㎡, 借用2,044㎡)で, 前年度より6,333㎡減少している。

2 学校建物面積

私立学校の建物面積は1,790,097㎡(設置者所有1,782,991㎡, 借用7,106㎡)で, 前年度より10,408㎡増加している。

公立の専修学校の建物面積は52,045㎡(設置者所有52,045㎡, 借用0㎡)で, 前年度より5,624㎡減少している。

注) 調査対象は私立の各学校(小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校, 幼稚園, 専修学校, 各種学校)及び公立の専修学校である。